

平成 31 年 3 月 1 日

嬉野市議会

議長 田中 政司 様

議会活性化特別委員会

委員長 山口 忠孝

議会活性化特別委員会報告書

平成 30 年 12 月議会において付託された下記事件の調査結果を、嬉野市議会
会議規則第 107 条の規定により報告する。

付託事件名 「議会の活性化を図るための調査」

○調査の理由

嬉野市議会では平成 21 年に議会基本条例をいち早く制定し、議会の改革や活
性化に取り組んできている。しかし、議会を構成する議員も入れ替わり、議会
を取り巻く時代環境も変化してきている。今後はどのような議会を目指すのか、
議員はどうあるべきなのか、もう一度原点に戻って考える必要があると考える。

今回議会改革に先進的に取り組んでおられる堺市議会と八尾市議会へ視察研
修を行った。

○調査の概要

平成 31 年 1 月 21 日大阪府堺市議会、翌 22 日大阪府八尾市議会を訪ね、議会
事務局職員から詳細説明と質疑応答の研修を行った。

「議会改革の取り組み」について

○応対者

(1 月 21 日 堺市議会)

堺市議会事務局副理事兼総務課長

木下 雅博 氏

堺市議会事務局調査法制課 課長補佐

河合 太郎 氏

(1 月 22 日 八尾市議会)

八尾市議会事務局議事政策課議事政策係

係長 松崎 浩幸 氏

八尾市議会事務局議事政策課議事政策係

松村 晃年 氏

○堺市議会の主な取り組み

- ・議会力向上会議の設置…平成23年より年5、6回定期的に開催
- ・議会基本条例制定…平成25年制定
- ・委員間討議…平成25年から実施、平成31年一般選挙まで試行
- ・議員研修…大学等の専門家を招いて研修を行う
- ・議会報告会…平成25年より開催…懇談会方式(トークカフェ)
- ・議会図書室…専門書や行政に関する雑誌等が充実しており、職員の利用が多い

○八尾市議会の主な取り組み

- ・議会改革は各派代表者会議で話し合い、決定は全会派一致が原則
- ・議会基本条例は制定されていない
- ・常任委員会の所管事務調査を年度ごとにテーマを決めて実施
- ・地元にある大阪経済法科大学と地域連携
- ・議員研修…大学等の専門家を講師として研修を行う
- ・やお未来会議…高校生に選挙や議会民主主義を体験してもらう

○委員会の意見

堺市議会(議員47人・事務局職員28人)、八尾市議会(議員28人・事務局職員15人)ともに大阪府下の大きな自治体であり、議会改革度ランキングでは上位に位置しておられ、その実態に触れることができた。

まず、感じたことは事務局が充実していることである。人口や財政が大きく議員数も多いことから理解できたが、市民の側にある議会が市政のなかで車の両輪の片翼を担っている責任の重さを改めて感じさせられた。

本市における議会視察の対応は、事務局職員数が少ないこともあるが、議員自身が行っており我々自身の研修や勉強にもなり、また、議員間の交流の場として役立っているのではないかと認識を新たにしたところである。

委員会で一つのテーマを決めて政策提言や政策立案につなげていこうとするやり方は、議会の役割として、市民の声を聞きながら、行政の改革改善に結び付けていくという本来の姿であり、議員として市民の福祉向上に努めることの責務と捉え、当市議会でも参考としたい。

議会改革は、「改革のためではなく、日々変化していく市民の声に応えていくために行うものである」と述べられた八尾市事務局職員の言葉が心に残った。